

2022/04/11

★主な担当

浜高教 2022 度の執行部担当

役員／氏名

分 会

担当専門部

担当各部・委員会

担当分会

市 労 連

委員長 木立 敏樹	横浜総合	★賃金対策部	平和教育推進委 ★臨任・再任用問題対策委 ★定時制対策委	金 沢 南	副委員長 (企画部会) 定年引上げ問題
副委員長 井上 大司	戸塚全	教育研究部 ★情報宣伝部 浜高教情報	★事務職部 メーデー実行委	戸塚全 みなと総 合	中央委員
書記長 三木マリ子	ろ う	賃金対策部 ★教育財政部 ★浜高教情報	実習教員部 臨任・再任用問題対策 ★メーデー実行委	ろ う 横商別	執行委員 企画部会
書記次長 渡辺亜矢子	戸塚定	賃金対策部 組織法制部 情報宣伝部 教育研究部	★女性部 ★平和教育推進委 定時制対策	戸塚定 YSFH 東	調査部会 定年引上げ問題
書記次長 新宅 史生	横浜総合	教育研究部 ★福利厚生部 組織法制部	青年部 定時制対策委	横浜総合 桜 丘	中央委員 福対部会
会 計 大山 澄子	盲	★組織法制部	障教部 女性部 平和教育推進委	盲	財政部長会議 中央委員
執行委員 乙守 貴子	港南台ひの	組織法制部 教育財政部	★障教部 ★実習教員部 女性部	特別支援	障がい者雇用問 題
執行委員 伴在 渚	横浜商業	福利厚生部 ★教育研究部	★青年部 女性部 平和教育推進委	横浜商業	青女協 会計監査
書 記 樫本有実子	勤務時間	平日 = 10：00～17：00 ※書記が代休や年休を取る日は退職者が交代で代替出勤します。 これを「書記局アルバイト」と呼んでいます。			
書記局アルバイト	勤務時間	不定期	13：00～17：30		

れています。何の罪もない子どもたちが「死にたくない！」とカメラに向かって訴えています。教え子が戦禍に巻き込まれています。学校の教職員の方々の気持ちを考えると、やるせない気持ちになります。ウクライナのゼレンスキー大統領は憲法9条がある日本に対して、復興の援助を求めました。毎日の仕事に追われ、時間的にも経済的にも余裕がない私たちに出来る事は僅かしかないかもしれませんが、今こそみんなで力を合わせ大きな力にして大統領の要請に応えようではありませんか。

市労連ではこの二カ月間、定年引上げの問題を当局と話し合って一定の到達点に至り、細部については各単組交渉に繋げることになりました。

私たちを悩ませていた「教員

浜高教組合員 各位

二〇二二・四・九

ロシア軍のウクライナ侵攻に対する抗議声明

浜高教執行委員会

現在、ロシア軍のウクライナ侵攻により、多くの尊い生命が失われるとともに、破壊により都市は荒廃し、多くの人々のかけがえのない生活が危機に瀕する惨状が報道されています。また、核兵器の使用が危ぶまれる状況も報道されています。私たちは、ロシア軍によるウクライナ侵攻に対し強く抗議します。

私たちは、日本国民として、また、教職員として、過去の戦争での悲惨な経験を基に憲法9条の平和主義を重視します。憲法9条は、戦争と武力の行使を手段とした国際紛争の解決を永久に放棄しています。これは、戦争からは、殺戮と破壊からは、何も生まれないという実感に基づく意思なのだと思います。また、核兵器の廃絶を求めています。唯一の被爆国として、実体験に基づき核兵器の廃絶を求め続ける人たちがいます。想像を絶するその恐怖を、その苦しみを、もう二度と誰にも体験させてはいけないという信念なのだと思います。

戦争反対。核兵器反対。私たちは、平和主義の精神に基づき、対話による国際紛争の解決を希求します。

今、ウクライナでは、戦争が子どもたちから生命を奪っています。家族を、友人を、家を、学校を奪っています。教職員である私たちは、戦争の犠牲となる子どもたちのことを胸に刻みます。そして、「教え子を再び戦場に送らない」という言葉を、強く胸に刻み直します。

免許更新制」はこの七月で廃止になります。我々の長年の訴えが実りました。「長時間労働の削減」「一年単位の變形労働制」「夜間定時制手当の復活」「常勤講師の方々への差別の解消」・・・これらの課題にもさらに取り組んで参ります。

今年度も「皆さんが『幸せ』に働ける浜高教」「『家族』のように温かい浜高教」「『やさしさ』のある浜高教」を目指していきたいと思ひます。どうぞよろしく願ひいたします。

退職予定者に感謝する会

3月5日(土)16時から17時、市従会館1・2会議室にて、2022年度退職予定者に感謝する会が開催されました。神奈川県において新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が発令される状況下、実施が危ぶまれることもありましたが、昨年度と同様に、飲食なし、短時間の懇談という簡略化された形での実施となりました。退職予定者として6名の方々に参加いただき、その他、教友会から浅野元委員長、本部

から6名、合計12名の参加者により、ささやかではありましたが、心と和む会となりました。昭和・平成・令和にわたる激動の時、現場で奮闘された先輩方は、未曾有のコロナ禍にあり、退職を迎えられることとなります。それゆえ、どなたも深い感慨をお持ちのこととご推察申し上げます。教員生活を振り返り、語られるその言葉の端々には、一事を成し遂げ、人生において一つの区切りを迎えられる達成感と充実感

があるとともに、豊かな経験に基づく鋭い知見がありました。教育現場のみならず、分断が問題となる現代社会において、後進へ引き継ぎ伝えていくことの大切さを、この会に参加して実感いたしました。本年度退職なさる方々のより一層のご活躍を期待するとともに、今後の人生がより豊かなものとなることを心よりお祈り申し上げます。会にご参加いただいた方のお言葉を紹介します。

(井上大司)

「退職予定者に感謝する会」に出席して

今野義久Y.S.F.H分會
今年度60歳を迎えた私たちは、高度経済成長と学生運動時代に区切りがついたところに大学生生活を過ごした世代である。世間では、シラケ世代とか、新人類のはしりととらえられているらしい。団体行動が苦手なイメージのネーミングだ。特徴が薄いからか放映時期になぞらえてウルトラマン世代と呼ばれたこともある。なるほどと思われないでもないが、教員として働き始めてからの青年時代は多くの人たちとすいぶん楽しく過ごしてきた。

実際のところ我々の少し下の世代から新採用が減っていき、職場では長らく若手の立場だったように思う。だからいろんなことに顔を出し、経験をし、忙しく過ごした。組合の行事や教職員の行事にもよく参加した。上の世代の人たちに誘われ、連れて行かれた。横浜スタジアムでのメーデー、ソフトボール大会、バレーボール大会、スキー、定期大会、春闘など。こういった機会に他の分会の先生たちと顔見知りになり、一緒の職場になったこともないのに親しくなったものだった。部活動でも同じだった。他校の顧問の先生とプライベートな交流までもあった。そこでも目上の人々がきさくに誘ってくれ、若い者たちが自由に楽しくできる場を作ってくれ

た。ここが反省ポイントである。自分が若い頃してもらっていたことを、同じように若い人たちにできていなかったのではないかと。校務は常に忙しく、教員を取り巻く状況は加速度つけて厳しくなっている。自身を評価されることはあたりまえになって、おつとりとしているだけでは駄目みたいだ。なにといい訳は思い浮かぶし、いくらかはその通りだ。でも、自分がしてもらったことを、次の世代、次の次の世代の人たちも同じように経験できるようにすることは間違いなく大事なことです。したことのないことをするのは難しい。されなかったことをするのはこれも難しい。若い世代がいかに思いをできるようにしないと、その先が心配だ。組合は分会を越えた横の連携がもちろん大切だが、長い年月に渡る継続・繰り返しもきつと大切だ。「退職予定者に感謝する会」に出席しようと思ったのは、ぜひともという誘いには前向きに考えようと思ったからである。それに執行部の方々が、ここ何年もの間組合に貢献していない私を誘ってくれる。本当に有り難いと思った。出席することが報いることだと思った。誘い誘われは素敵だ。引きこもりの老人にならないように、いろんなところに出て行くべきではと考えるきっかけになった。最後に、来年もその先もこの会

が、いや組合のあらゆる活動や行事にたくさんの人が集まり、交流し、活気づいたものになることを、厚かましくも自分のことを棚に上げて、密かに祈りたい。

「建国記念の日」に反対する 神奈川県民のつどいアピール

私たちは本日、コロナ禍の中で、「建国記念の日」に反対する県民集会を開催しました。私たちの集会は、戦前の天皇主権体制を美化し、2月11日に紀元節を復活させようとする目論み保守勢力から、国民主権の日本国憲法による民主的な社会を守り、発展させるために開催されてきました。コロナ禍のような困難な状況にあっても私たちのこの決意は、これからも変わることはありません。

明治政府は、大日本帝国憲法で天皇の地位を「神聖にして侵すべからず」と規定し、日本の建国を天皇神話に基づかせて、2月11日を神話上の神武天皇の即位の日と定めて「紀元節」とし、戦前の学校教育の中で天皇崇拝の念を醸成しようと努めました。

自民党とその支持団体は、戦前の天皇制国家を美化し、侵略

2022教育予算要求に 対する回答

3月8日(火)新市庁舎18階みなと5号会議室において、浜高教2022年度教育予算要求(全体要求・分会要求・各部要求)への回答についての説明がありました。大木課長(教職員労務課)からは部活動指導員単独での生徒引率について、研修を受けるなど

の要件を満たせば可能になっていることなどを含め、各部に回答がありました。個々の要求に関しては「困難です」「今後も検討してまいります」などがほとんどですが、今後もあきらめず、現場の切実な要求であることを訴え続け、また現場の状況を理解してもらう

「建国記念の日」に反対する 2・11神奈川県民のつどい

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大によつて県民センターの使用ができず開催できませんでした。今年の集会はフォーラム(男女共同参画センター)ホールにて

集会とオンライン配信を企画していました。しかし、会場からのオンライン配信が難しい状況が判り、神奈川労連の会議室よりオンライン配信されたものを視聴しま

せ、婚姻の自由が、国家機関としての天皇制・皇室制度とは相いれないということが端的に示されました。

また、対英米開戦から80年となった昨年、大手メディアは対米開戦を大きく取り上げましたが、昭和天皇が開戦に至る過程にも責任があることを示す資料が明らかになりました。日本国民の被害に目が向きがちですが、アジア諸国に多大な被害をもたらしたアジア太平洋戦争の全体像にあらためて向き合う態度が、今だからこそ、必要なのではないのでしょうか。米中対立の激化あるいは「台湾有事」などが喧伝され、安全保障の名の下で、敵基地攻撃能力を備えることがあたかも必然のように声高に主張されています。私たちは、戦争が何によつて始められるのか、そして何をもたらすのか、冷静に、多面的に検討し、議論しなければなりません。

こうした安倍・菅政権の人権軽視の姿勢が、世界的な新型コロナウイルス・パンデミックの中で露わになった日本社会の歪みや矛盾を生み出したのです。自己責任論を蔓延させて、労働条件の劣化、富の偏在を許して貧富格差を拡大させてきた、新自由主義的な政策がコロナ禍に苦しむ人々を一層、追いつめ、苦しめています。

一方、コロナ禍の中でも国民の関心を集めた秋篠宮家の結婚問題が、天皇制そのものが揺るぎつつあることを明らかにしました。日本国憲法が保障している個人の尊

厳、婚姻の自由が、国家機関としての天皇制・皇室制度とは相いれないということが端的に示されました。また、対英米開戦から80年となった昨年、大手メディアは対米開戦を大きく取り上げましたが、昭和天皇が開戦に至る過程にも責任があることを示す資料が明らかになりました。日本国民の被害に目が向きがちですが、アジア諸国に多大な被害をもたらしたアジア太平洋戦争の全体像にあらためて向き合う態度が、今だからこそ、必要なのではないのでしょうか。米中対立の激化あるいは「台湾有事」などが喧伝され、安全保障の名の下で、敵基地攻撃能力を備えることがあたかも必然のように声高に主張されています。私たちは、戦争が何によつて始められるのか、そして何をもたらすのか、冷静に、多面的に検討し、議論しなければなりません。

コロナ禍の今、これを奇貨とする財界の意を汲み、自公連立政権はSociety5.0と称して、民間企業を直接的に教育現場に入り込ま

ために、要求し続けていくことが大切です。なお各分会の要求に対する回答は第一回分会代表者会議(4月9日)で各分会に配布します。各分会での要求作成の参考にしてください。例年、7月末〜8月末に次年度に向けての予算要求を集約、10月〜11月に市教委に提出しています。新年度が始まったばかりですが、次年度に向けての要求の検討をお願いします。(渡辺重夫子)

した。講演は昨年度お呼びする予定だった永山茂樹さん(東海大学教授の「『安倍改憲』のよみがえりをどう阻止するか」でした。さらに横浜の教科書問題、給食、カジノについて特別報告がありました。詳しくは「アピール」をご覧ください。(天山澄子)

せ、国民の最大の財産たる公教育を企業利益に従属させようとしています。人同士の触れ合いの中で人格の発展を図るという教育の役割を踏みにじり、人口の高齢化・減少によつて日本が直面している課題に真摯に取り組もうとせず、その場しのぎ的に経済を回す手段として子どもたちを犠牲にしようとする政府・財界の姿勢を許すことはできません。

歴代の政権は、これまでも沖縄新基地建設や原発再稼働に反対する国民世論に背を向け、日本国憲法でうたわれている人権・平和・民主主義を根底から崩そうとしてきました。今、世界各地で権威主義と暴力による支配が広がっています。その中で、私たちは天皇の権威によつて国民を縛り人権を奪った戦前の日本に回帰させるのではなく、すべての人々のいのちと人権をまもるため、それぞれの持ち場で、何ができるかを考え、多様なつながりを鍛え、ともに闘いましょう。

2022年2月11日

「建国記念の日」に反対する2・11神奈川県民のつどい実行委員会